

兵庫県西宮市におけるギフチョウ, ミドリシジミ, オオチャイロハナムグリの記録

中本 南¹⁾・神吉 正雄²⁾

筆者の一人, 中本南は兵庫県西宮市鷲林寺剣谷にある兵庫県立西宮甲山高校在籍時の2017年から2019年までの間, 同高等学校敷地内で昆虫調査を実施した. その結果, 昆虫類全304種を確認することができた. その中で西宮市域では未確認であるオオチャイロハナムグリ *Osmoderma opicum*, 六甲山地南部の西宮市域では未確認であるギフチョウ *Luehdorfia japonica*, ミドリシジミ *Neozephyrus japonicus* を確認しているため報告する.

調査地の兵庫県立西宮甲山高校は六甲山地中腹にある観音山北西山麓の標高260~300mに位置する学校である. 校庭が周辺の自然林に連続する環境である. 南西部は観音山山腹にある鷲林寺の保護された樹林地に接している. 北は急崖で仁川溪谷に面している. このような特異な自然環境下に位置し, 昆虫相・植物相も多様で豊かである.



図1 ギフチョウ. 甲山高校, 2019年4月16日.



図2 ミドリシジミ. 甲山高校, 2017年6月20日.

・ギフチョウ♂ (図1)

兵庫県 RD (2012) B ランク

2019年4月16日朝8時頃, 本校グラウンド南側の桜並木道で飛翔中の個体を確認. そのまま追尾し, 約1分後枯れ葉上に静止した当個体を筆者が持参していたランチバックで採集した.

・ミドリシジミ♂ (図2)

兵庫県 RD (2012) B ランク

2017年6月20日18時頃, 本校駐車場付近で飛翔する2個体のミドリシジミを確認. オス同士の卍飛行していた, うち1個体を採集した. 周辺でハンノキは確認されなかった.

・オオチャイロハナムグリ♂ (図3)

兵庫県 RD (2012) B ランク

2018年7月27日午前11時頃, 本校正門奥のアラカシの木で採集した. 体長32.8mm, 採集時, 独特な香気を放っていた.



図3 オオチャイロハナムグリ. 甲山高校, 2018年7月27日.

追記:

神吉は中本南から県立西宮甲山高校での昆虫調査結果の報告を受けた. 中本は中学生時代から西宮市域の昆虫相の調査を実施し, 特筆すべき昆虫類の発見を行って

¹⁾ Minami NAKAMOTO 兵庫県西宮市; ²⁾ Masao KAMIYOSHI 兵庫県宝塚市

いた。今回、西宮甲山高校での調査結果の中でギフチョウ、ミドリシジミ、オオチャイロハナムグリの採集に驚き、同高校の生物担当教諭の協力も得て、各採集場所の現地調査も行なった。

ギフチョウについて、1972年当時は西宮市武田尾での生息が見られていた(日浦・瀬戸・宮武, 1972)。しかし、神吉は2008年以降、西宮市域の蝶類生息調査を継続的に実施しているが、近年は確認されていない。

今回の中本が発見した鷲林寺近隣部におけるヒメカンアオイの自生地は、仁川ピクニックセンターの一部で確認している。しかし、これまで産卵、食痕、成虫は全く確認していない。採集された個体の様子から自然発生と見受けられるが、飼育者の放蝶個体の可能性も一部残す。貴重な記録である。

ミドリシジミについては、西宮市域では六甲山地以北の船坂、山口などで現在も生息を確認しているが、六甲山地南部の西宮市域ではこれまでミドリシジミの記録は全く見かけたことがない。

今回の中本がミドリシジミを確認した西宮市鷲林寺剣谷の学校敷地内においてはハンノキを確認できなかったが、北を流れる仁川溪谷には自生のハンノキが見られ、南東部の甲山森林公園には植栽のハンノキが見られる。しかしこれらのハンノキではこれまでミドリシジミの確認はできていなかった。今回の中本の発見時の様子と採集個体から判断して自然発生した個体と考えられ、西宮南部では初めての記録である。

オオチャイロハナムグリについては本来原生林や大木が多く見られる自然林に生息している甲虫と考えられているだけに西宮市域での発見は驚きである。あえて自然発生していた可能性を考えるならば、隣接する鷲林寺(833年創建)はかつて広大な社域を有していた古寺で、現在でもその自然林の古木の一部が残存していることから発生可能性が一部考えられるが、今後のさらなる調査を必要とする。

今回の中本が発見した3種については、西宮市域の昆虫相として重要な発見であると認識している。3種の標本は神吉が保管。

参考文献

- 日浦勇・瀬戸剛・宮武頼夫, 1972. 西宮市の生物相.
西宮市の自然保護利用基礎調査団. 西宮市の自然保護および利用に関する基礎研究報告書. pp.85-87.
神吉正雄, 2016. 環境変化と西宮市域の蝶類棲息数の変化. 大昆 Crude no.30 : pp.19-32.